

道路美化活動から始まった地域おこし ～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった!～

1 社会資本の概要

五島灘に浮かぶ西海市の大島は、温暖な気候と美しい風景に囲まれた自然豊かな地域です。平成11年11月1日には、西彼杵半島と同市寺島を結ぶ「大島大橋」により、大島と本土が繋がりました。

この「大島大橋」は、全長1,000mを超える斜張橋で、当初は有料道路として開通したものの平成23年4月1日に無料開放され、現在では、地元の方や来訪者にとってなくてはならない社会資本と



大島大橋周辺の美化及び清掃後

なっています。

環境美化を考える会が行う活動は、大島大橋を含む大島の地域全体を社会資本のフィールドとして捉え道路の美化活動を行うとともに、廃校になった小学校のグラウンドを開墾して農園（草木等最終処理場）として再利用することで環境学習や食育等の啓発などの活動の拠点としています。



廃校グラウンドの開墾

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和45年の松島炭鉱大島鉱業所の閉山後、離島特有の少子高齢化や人口減少が進む中、平成11年の大島大橋の開通を契機に、大島に来られる方を気持ちよく迎えようをスローガンに本会が発足し、除草や植栽などの道路美化活動を開始しました。

除草後の草木処理については、活動の自己完結型を模索し、除草で発生した草木をEM堆肥化させ、種まき、栽培し、道路植栽に活用するなど循環型の仕組みを構築しています。また、小中学校と連携し

た総合学習（野菜の土づくり、育てる、調理までの食育）を平成16年より毎年実施するとともに、植栽用の花苗については道守・日本風景街道の団体を通じて他の地域でも植栽に利用されるなど、活動が地域に広がりを見せています。また、大島のイラストマップを自ら企画・製作し、島内の民宿や観光等施設に設置するなど、地域全体の観光振興にも寄与しています。



小学校（廃校）のグラウンドを利用した農園



大島のイラストマップ



長崎県西海市 環境美化を考える会

3 活動の成果や波及効果等

道路美化活動は、平成11年より月1回のペースで行われ、20代から70代までの幅広い世代が参加しています。また、平成16年より、小中学校（9校）の総合学習枠で環境・食育指導を、1校につき年6回開催し、地域の教育現場と連携した取り組みが継続的に行われています。

さらには、大島を舞台とした「長崎西海トライアスロン祭り」の炊き出し支援を行うなど、当初と比べ活動の幅に広がりを見せています。



大島大橋周辺清掃活動



小学校での食育活動

喜びの声



受賞者

環境美化を考える会
代表 田口 昭子

コメント

この度は、このような栄えある賞を賜り誠にありがとうございました。

活動内容も道路の除草活動・植栽に始まり、生ゴミ堆肥化による環境学習、特に、元気野菜づくりにおいては子供達の食育に関わらせて頂いています。

この受賞を機に、会員ともに原点に立ち返り、微力ではありますが心を合わせて、郷土づくりの一助となるべく、力を尽くして参ります。

活動内容

地域清掃活動、廃校を利用した農園づくり など

活動の経緯

- 平成11年 設立
- 平成11年 道路除草・植栽開始
- 平成16年 環境学習・食育指導開始

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

長崎県西海市大島町1617

活動主体及び連絡先

環境美化を考える会
(0959-34-2364)

対象となる社会資本

長崎県西海市大島町
県道15号・52号・243号、市道
※管理者：長崎県、西海市

